

# SRD-GIH1402 症例報告

〒300-1234 茨城県牛久市中央4丁目3-8

加藤獣医科クリニック  
院長 加藤 明久 先生

Mダックス 2002年11月3日  
生まれ オス 体重6kg

- ▶ 2014年6月貧血で加療。
- ▶ 約4ヶ月後からSRD-GIH1402を服用。
- ▶ 投与量： 一日 1回2錠
- ▶ 貧血の理由：原因不明。バベシア陰性、凝固系正常、出血等の心当たりなし。
- ▶ ただし、再生性の貧血
- ▶ 顕微鏡下で異常は認められず、いわゆる通常の下痢の処置（整腸剤・止瀉薬）に反応せず。
- ▶ 投与期間：約20日
- ▶ 現在は回復の為投与終了。
- ▶ その後の血液検査は飼い主さんの同意が得られず実施していません。
- ▶ 観察： すこぶる元気になりました。

雑種 1998年3月生まれ  
去勢 オス 15kg

- ▶ 2015年に入って度重なる下痢を起こす。
- ▶ その度にベルベリンなどのいわゆる一般的な下痢の治療をするも治らず。
- ▶ SRD-GIH1402を投与。
- ▶ 投与後、すぐに好転。
- ▶ 原因： 不明。ストレス性もしくは、加齢による胃腸機能減退によるものかと思えます。
- ▶ 顕微鏡下で異常は認められず、いわゆる通常の下痢の処置（整腸剤・止瀉薬）に反応せず。
- ▶ 投与量： 一日1回 3錠。
- ▶ 投与期間： 5日 処方。
- ▶ 回復： 3日目には改善。
- ▶ 現在の服用はありません。

チワワ 2009年1月生まれ  
避妊 メス 体重3kg

- ▶ 2014年12月、血液が混じった軟便を呈す。
- ▶ SRD-GIH1402を5日間処方。
- ▶ 投与量： 一日1回 1錠
- ▶ 下痢の理由：原因不明。顕微鏡下で異常を認めず。
- ▶ 3日目には改善。
- ▶ 現在の投与はありません。

トイプードル 2011年6月生まれ  
メス

- ▶ 2015年、ストレス性の粘液血便あり。
- ▶ SRD-GIH1402を7日間処方。
- ▶ その後の通院なし。
- ▶ 結果は不明
- ▶ Q: 結果が不明というのは改善したと思われませんか？
- ▶ A: よくならない時は再受診するのが常ですから、結果として好転していると思われれます。

## ラブラドル 2005年生まれ 去勢オス

- ▶ 2013年から歯肉に腫瘍を認める。
- ▶ 2015年4月、抗腫瘍性免疫活性を目的にSRD-GIH1402を処方。
- ▶ 現在観察中。
  
- ▶ Q: 本症例はいかがですか？良い方向ですか？
- ▶ A: どうでしょう？まだ1ヶ月程度ですから、変わらずというところです。

## 雑種 2004年3月生まれ オス

- ▶ 以前から下痢を繰り返す。
- ▶ SRD-GIH1402を使ってもらうが改善せず。
- ▶ 原因追求の結果、鞭虫であることが判明。
- ▶ 駆虫薬で下痢は改善。

## Mダックス 2002年8月生まれ オス

- ▶ 2015年2月、消化不良性食欲不振。
- ▶ SRD-GIH1402を7日間、処方した。
- ▶ 結果は不明
  
- ▶ Q：この症例も来院しないために結果は不明ということですか？
- ▶ A： その通りです。

## おわりに

- ▶ 症例報告は7件ですが記載した症例の他に、軽い熱中症を疑う例や生後50日前後の仔犬、仔猫の食欲不振時など、様々なシーンで応用しています。
- ▶ 総じて食欲や覇気に改善傾向がみられます。
  
- ▶ Q：大体何錠くらいの投与になりますか？
- ▶ A： 袋に記載されている「目安」に準じて投与しております。
  
- ▶ 比較的安価なサプリに設定していただいておりますので倍量を与えたい衝動に駆られるケースもあります。
  
- ▶ Q：何か副作用は認められましたか？
- ▶ A： これまでに用いて来た用量では全く有害反応、副作用は見られず、安全なサプリメントと思います。

# 獣医代替医療研究会より、 獣医師の皆さまへ

夏バテ予防には消化管機能を健常に保ち、食欲の減退を防ぐ事が第一であると研究会では考えています。ワンちゃんの夏バテ防止に是非、お試してください。よろしく願いいたします。

サンプル要求などはFAXにて、ご注文ください。

**FAX 047-384-1719**

獣医代替医療研究会 事務局